

A0J2リニューアルツール

シーケンサ固定台セット/ベースアダプタ

積み上げタイプ	{	SC-A0JQSES-U1	SC-A0JQSEL-U1
	}	SC-A0JQSEL-U2	
平置きタイプ	{	SC-A0JQSES-F	SC-A0JQSEL-F
別置きタイプ	{	SC-A0JQBSS	SC-A0JQBSL

置換えマニュアル

このたびは、当社の A0J2 リニューアルツールをお買い上げいただき誠にありがとうございます。リニューアルツールを正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に本書をよくお読みいただき、リニューアルツールの機能・性能を十分ご理解のうえ、正しくご使用くださるようお願い致します。

ご注意

1. 許可なく、本ユーザーズマニュアルの無断転載をしないでください。
2. 記載事項は、お断りなく変更することがありますので、ご了承ください。
3. 本マニュアルに従って正しく組立ててください。手順を間違えると再組立が必要となる場合があります。
4. 制御盤設置前の事前組立に関しては、別紙の『事前組立についてのご注意』(X903071201)を参照ください。
5. 本書では外部 DC24V 電源を Q62P から供給する前提で記載しています。『MELSEC-A0J2(H)システムから A0J2 リニューアルツールを使用した置換えの手引き』(X903070804)の『2.7 インタフェースユニット電源仕様』を参照の上、Q62P の電流容量を超える場合は別途電源をご用意ください。

 **三菱電機システムサービス株式会社**

◆ 安全上のご注意

(ご使用前に必ずお読みください)

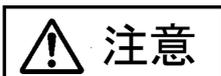
本製品のご使用に際しては、本マニュアルおよび本マニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って正しい取扱いをしていただくようお願い致します。

本マニュアルで示す注意事項は、本製品に関するもののみについて記載したものです。

この◆安全上のご注意では、安全注意事項のランクを「警告」、「注意」として区分してあります。



取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。



取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損傷だけの発生が想定される場合。

なお、⚠ 注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

本マニュアルは必要なときに読めるよう大切に保管すると共に、必ず最終ユーザまでお届けいただくようお願いいたします。

設計上の注意事項



- 外部電源の異常や本製品の故障時でも、システム全体が安全側に働くように本製品の外部で安全回路を設けてください。誤出力、誤動作により、事故の恐れがあります。
 - ①非常停止回路、保護回路、正転／逆転などの相反する動作のインタロック回路、上限／下限など機械の破損防止のインタロック回路などは、本製品の外部で回路構成してください。
 - ②出力回路トランジスタなどの故障によっては、出力が常時 ON、常時 OFF 状態になる可能性があります。重大な事故につながるような出力信号については、外部で監視する回路を設けてください。
- 出力ユニットにおいて、定格以上の負荷電流または負荷短絡などによる過電流が長時間継続して流れた場合、発煙・発火の恐れがありますので、各出力チャンネルの外部にヒューズなどの安全回路を設けてください。
- Q シーケンサ電源及び本インタフェースユニットのユニット電源立上げ後に、外部供給電源を投入するように回路を構成してください。外部供給電源を先に立ち上げると、誤出力、誤動作により事故の恐れがあります。

設計上の注意事項



- A0J2 リニューアルツールと合わせて使用される Q シーケンサのベースは、A0J2 シリーズと異なり FG と同電位となっております。
- 制御線や電源ケーブルは、主回路や動力線などと束線したり、近接したりしないでください。100mm 以上を目安として離してください。ノイズにより、誤動作の原因になります。

シーケンサ固定台セット取付け上の注意事項



注意

- 本製品に強い衝撃を与えないでください。変形、破損が生じると、機能を損ない正常な取付けができなくなるおそれがあります。
- 強固な盤へ、規定の本数、サイズのネジでしっかり固定してください。

配線上の注意事項



警告

- 配線作業は、必ず電源を外部にて全相遮断してから行ってください。全相遮断しないと、感電あるいは製品の損傷の恐れがあります。
- 配線作業後、通電、運転を行う場合は、必ず製品に付属の端子カバーを取り付けてください。端子カバーを取り付けないと、感電の恐れがあります。



注意

- FG 端子および LG 端子は、シーケンサ専用の D 種接地（第三種接地）以上で必ず接地を行ってください。感電、誤動作のおそれがあります。
- 本製品への配線は、製品の定格電圧および端子配列を確認した上で正しく行ってください。定格と異なった電源を接続したり、誤配線をするると、火災、誤動作の原因になります。
- 端子ネジの締付けは、規定トルク範囲で行ってください。
端子ネジの締付けがゆるいと、短絡、火災、誤動作の原因となります。
端子ネジを締め過ぎると、ネジや製品の破損による落下、短絡、誤動作の原因になります。
- 製品内に、切粉や配線クズなどの異物が入らないように注意してください。
火災、故障、誤動作の原因になります。

立上げ・保守上の注意事項



警告

- 通電中に端子に触れないでください。感電の原因になります。
- 清掃、端子ネジの増し締めは、必ず電源を外部にて全相遮断してから行ってください。全相遮断しないと、感電の恐れがあります。
端子ネジの締め付けがゆるいと、短絡、誤動作の原因になります。
ネジを締め過ぎると、ネジや製品の破損による落下、短絡、誤動作の原因になります。



注意

- 製品の分解、改造はしないでください。故障、誤動作、けが、火災の原因となります。
- ユニットの着脱は、必ず電源を外部にて全相遮断してから行ってください。
全相遮断しないと、ユニットの故障や誤動作の原因になります。

廃棄時の注意事項



注意

- 本製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱ってください。

◆ 梱包品の確認

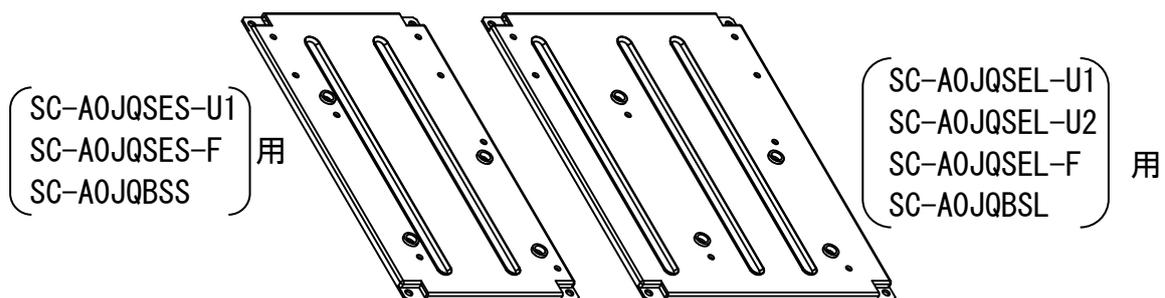
梱包を開いて、お客様が注文されたセット内容であるかご確認ください。

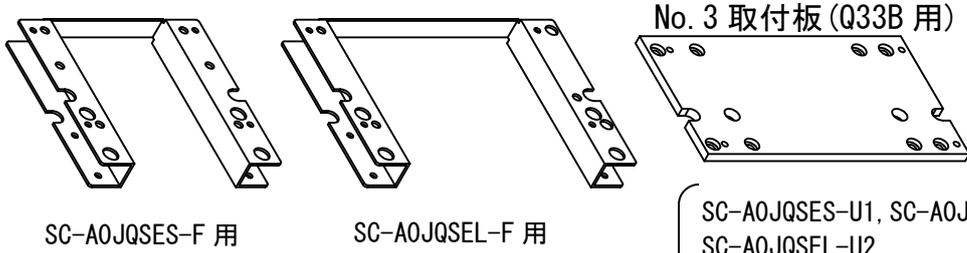
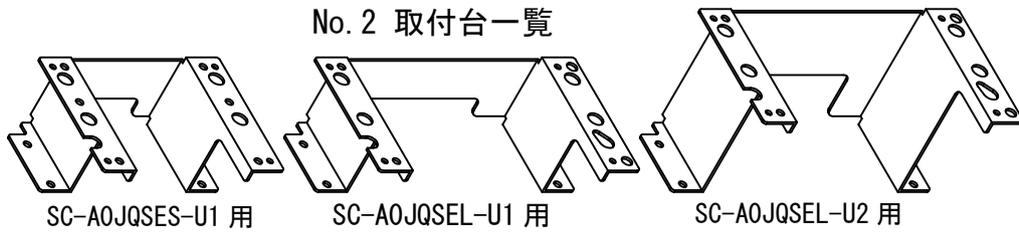
セット形名

- ①SC-A0JQSES-U1 ②SC-A0JQSEL-U1 ③SC-A0JQSEL-U2 ④SC-A0JQSES-F
 ⑤SC-A0JQSEL-F ⑥SC-A0JQBSS ⑦SC-A0JQBSL

No.	梱包品名称	セット内容						
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
1	ベースアダプタ	1	1	1	1	1	1	1
2	取付台	1	1	1	1	1	—	—
3	取付板(Q33B用)	1	1	1	1	1	—	—
4	電源用端子台 (AC100V/200V, DC24V, LG・FG 中継用)	1	1	1	1	1	1	1
5	電源ケーブル (6本) (電源用端子台⇄シーケンサ電源ユニット間)	1	1	1	1	1	—	—
6	電源ケーブル (2本) (電源用端子台⇄インタフェースユニット間)	1	1	2	1	2	1	2
7	特殊ボルト (ベースアダプタとインタフェースユニット 1段目固定用)	—	—	4	—	4	—	4
8	なべ小ネジ M4×25 ワッシャー, スプリングワッシャー付 (ベースアダプタとインタフェースユニット 1段目固定用)	4	4	—	4	4	4	4
9	なべ小ネジ M4×35 スプリングワッシャー付 (インタフェースユニット1段目とインタフ ェースユニット2段目固定用)	—	—	4	—	4	—	4
10	なべ小ネジ M4×8 ワッシャー, スプリングワッシャー付 (ベースアダプタと盤固定用) (ベースアダプタと取付台固定用)	8	8	8	8	8	4	4
11	バインド小ネジ M4×10 (取付台と取付板固定用)	4	4	4	4	4	—	—
12	なべ小ネジ M4×18 ワッシャー, スプリングワッシャー付 (端子台固定用)	2	2	2	2	2	2	2
13	ケーブル識別シール (シーケンサ接続ケーブル入出力識別用)	1	1	1	1	1	1	1
14	結束バンド	—	—	—	2	2	—	—
15	シーケンサ固定台セット/ベースアダプタ 組み立てマニュアル (本書)	1	1	1	1	1	1	1

No.1 ベースアダプター一覧

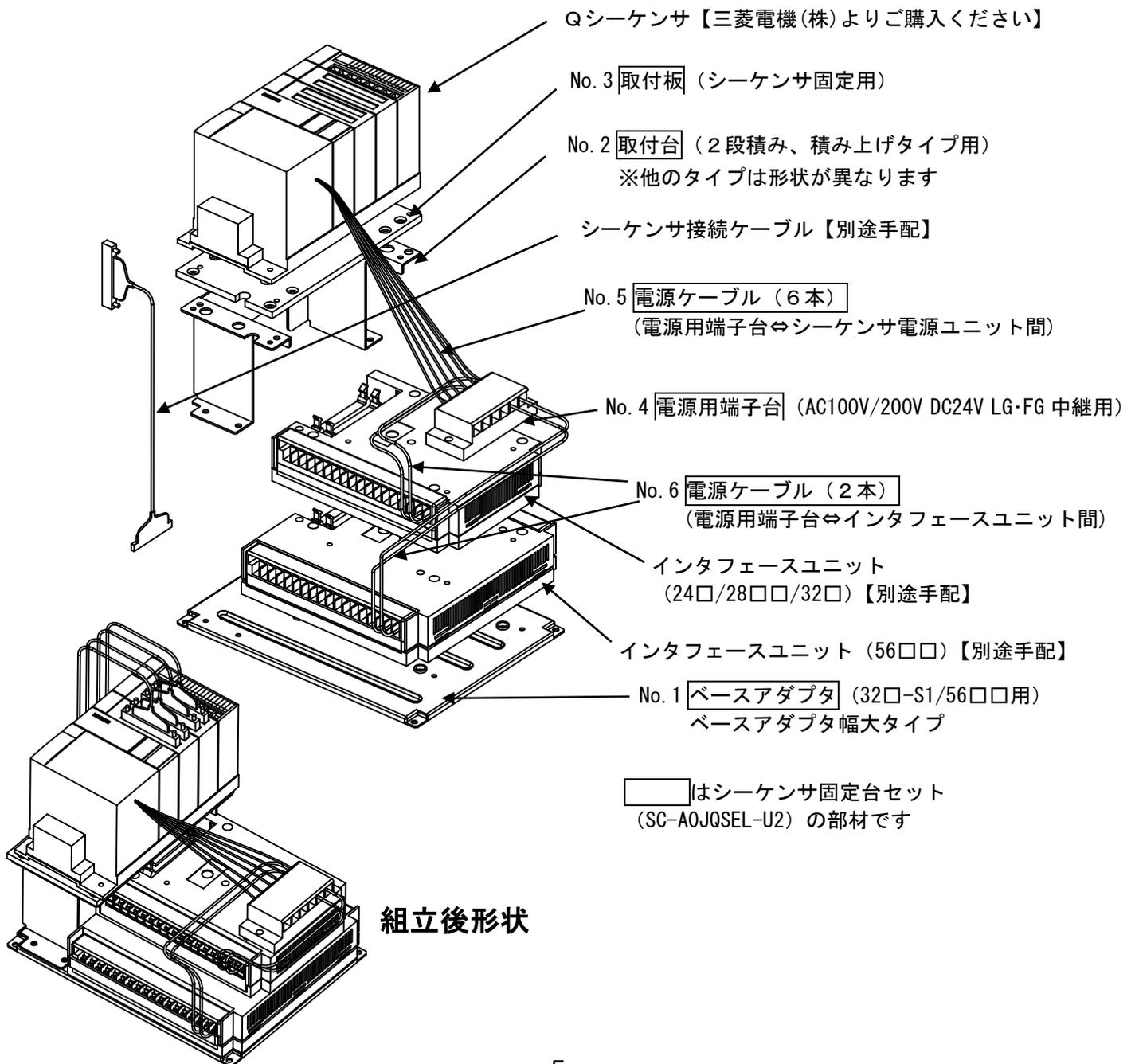




(SC-A0JQSES-U1, SC-A0JQSEL-U1
SC-A0JQSEL-U2,
SC-A0JQSES-F, SC-A0JQSEL-F) 用

◆ 各部の名称

(例) インタフェースユニット 2 段積み、シーケンサ積み上げタイプ



◆ 置換え手順

ネジの締め付けは下記値の範囲で行ってください

ネジの箇所	工程	締付トルク範囲 (N・cm)
なべ小ネジ M4×8	3-① 積み上げ, 平置き 13-①	140~180
なべ小ネジ M4×25	4-①	78~118
特殊ボルト	4-①	78~118
入出力ユニット用端子台取付けネジ	4-②, 8-②	78~118
なべ小ネジ M3×8	7-③	50 以下
ヒューズホルダ端子ネジ	7-⑤, 7-⑧	50 以下
なべ小ネジ M4×35	8-①	78~118
入出力ユニット用端子台端子ネジ	6-①, 7-⑦, 10-①	49~78
なべ小ネジ M4×18	12-①	78~118
電源用端子台端子ネジ	12-②, 12-③ 積み上げ, 平置き 16-① 別置き 13-①	140~180
バインド小ネジ M4×10	積み上げ, 平置き 14-①	140~180
なべ小ネジ M4×10 (別途手配品)	積み上げ, 平置き 15-①	140~180

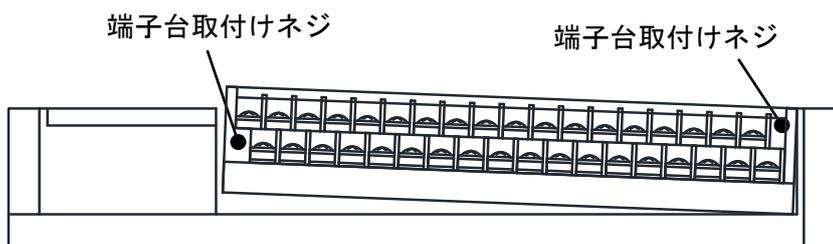
積み上げタイプ
平置きタイプ
別置きタイプ

共通

1. 入出力ユニット端子台取外し

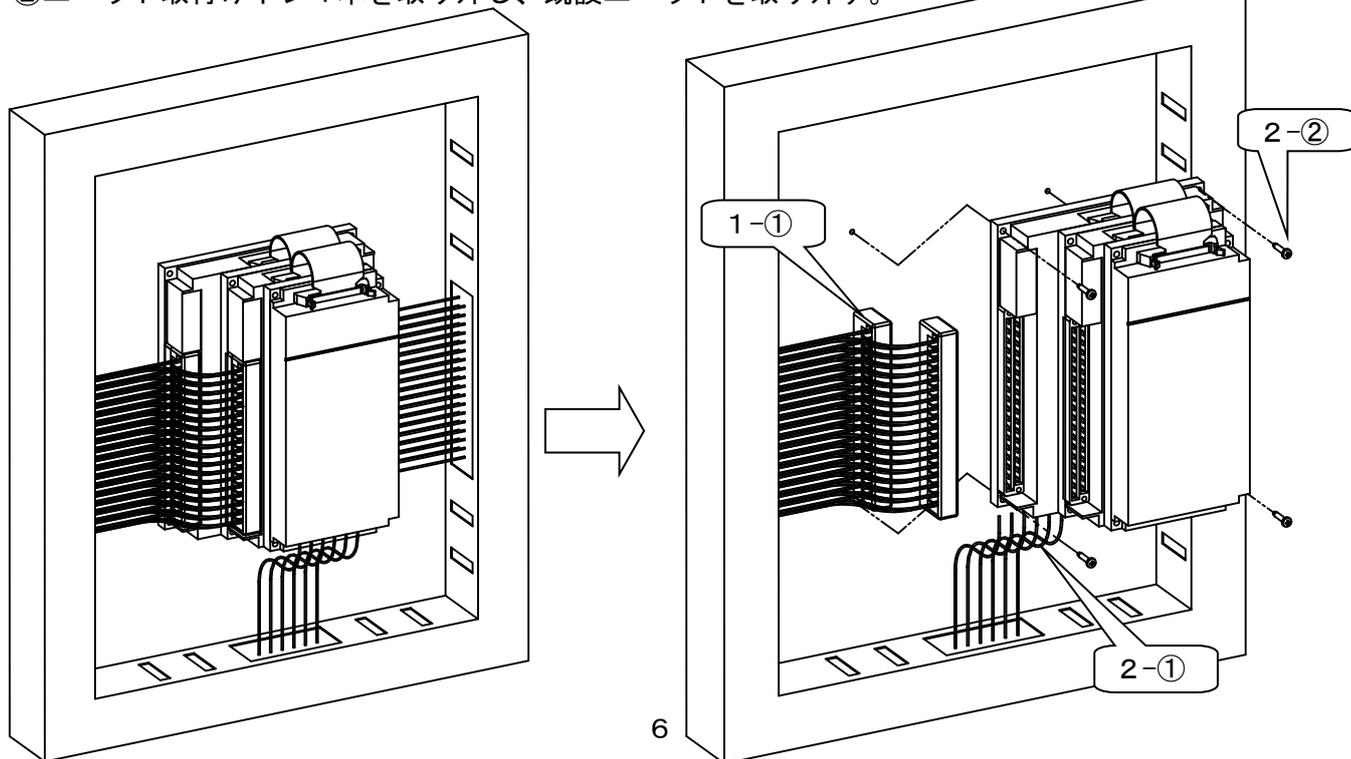
- ①入出力ユニット端子台の端子台取付けネジ(2本)を取り外し、端子台を取り外す。

※既設の入出力線がゆるんでいないかご確認ください。



2. 既設ユニット取外し

- ①CPU ユニットの電源用端子から電源線を取り外す。
②ユニット取付けネジ4本を取り外し、既設ユニットを取り外す。

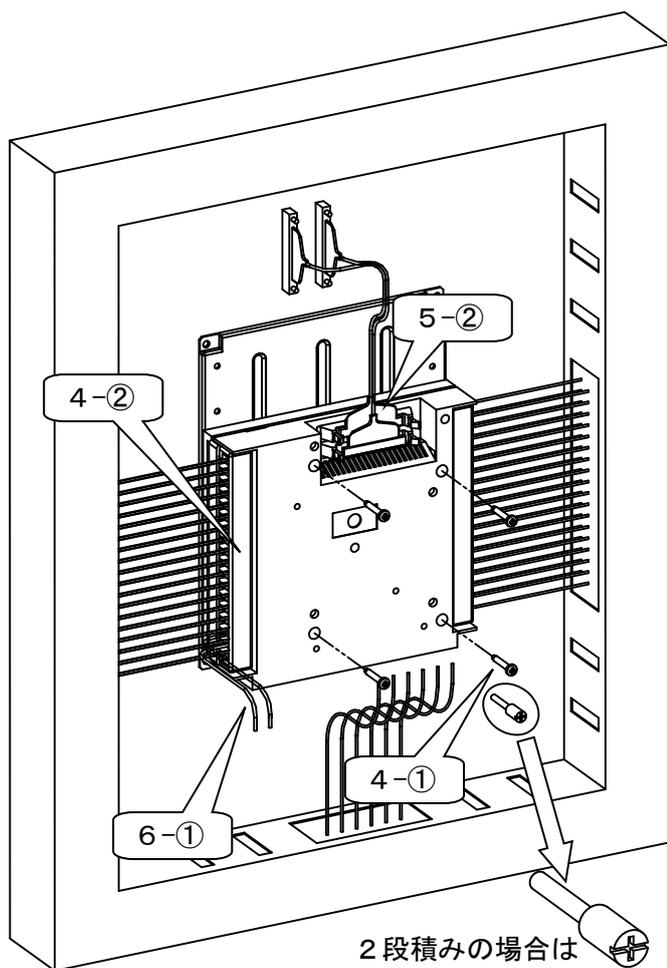
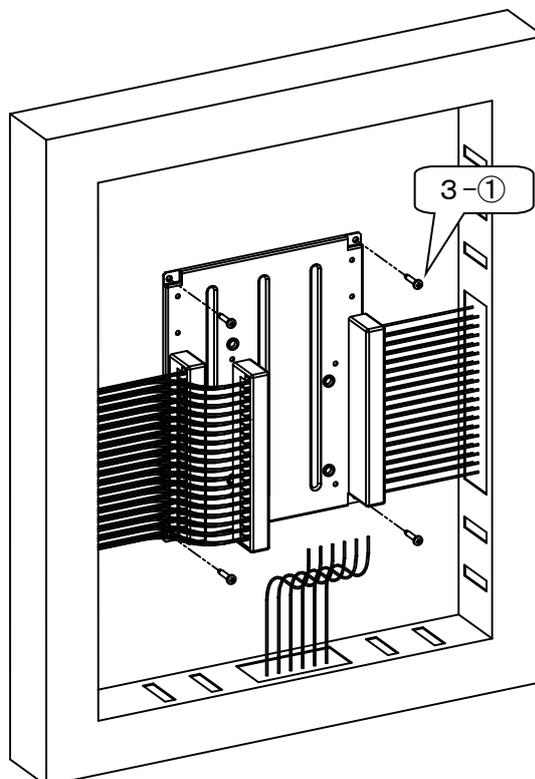


3. ベースアダプタ取付け

①なべ小ネジ M4×8(ワッシャー, スプリングワッシャー付)(4本)を使用し、ベースアダプタを既設ユニットの取付け穴に取り付ける。

※既設のネジを使用するとネジが奥まで締め付けられない場合があります。

※「1段積み 24□/28□□/32□タイプ」はベースアダプタの形状が図と異なります。



2段積みの場合
特殊ボルトを使用

4. インタフェースユニット(1段目) 入出力ユニット端子台 取付け

- ① 1段積みの場合にはなべ小ネジ M4×25(4本)、2段積みの場合には特殊ボルト(4本)を使用して、インタフェースユニット(1段目)を取付けてください。
- ② 入出力ユニット端子台をインタフェースユニット(1段目)に取付けてください。

5. シーケンサ接続ケーブル(1段目)取付け

- ① ケーブル識別シール X1, Y1 をシーケンサ接続ケーブルの下図の箇所に貼り付けてください。
- ② シーケンサ接続ケーブル(X1)をインタフェースユニット(1段目)の INPUT コネクタ、シーケンサ接続ケーブル(Y1)を OUTPUT コネクタに取付けてください。

※SC-A0JQIF24□をご使用の場合はケーブル識別シール X1 及び INPUT コネクタ側のシーケンサ接続ケーブルを使用しません。

※SC-A0JQIF24□に INPUT コネクタは付いていません。

※SC-A0JQIF32□(-S1)をご使用の場合はケーブル識別シール Y1 及び OUTPUT コネクタ側のシーケンサ接続ケーブルを使用しません。

※SC-A0JQIF32□(-S1)に OUTPUT コネクタは付いていません。

6. 電源ケーブル接続

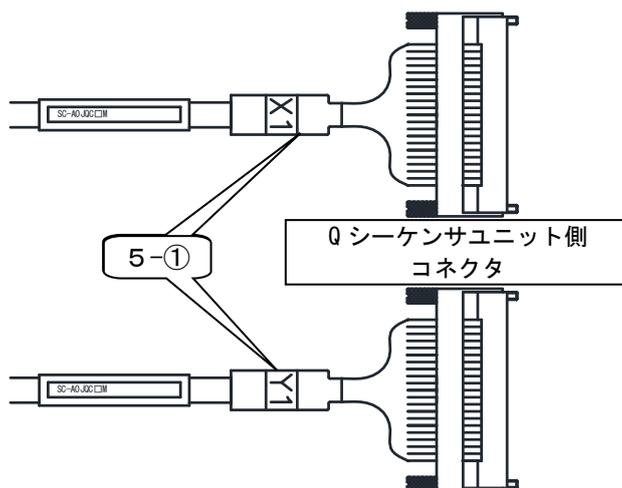
※本リニューアルツールで追加されたユニット電源接続の為に電源ケーブルです。忘れずに接続してください。

①電源ケーブル(電源用端子台⇄インタフェースユニット間)(2本)を入出力ユニット端子台の **+** **-** 部分に取付けてください。接続箇所の詳細はインタフェースユニットマニュアル(X903070802)を参照ください。

※SC-A0JQIF24R は接続の必要がありません。

※SC-A0JQIF24T, SC-A0JQIF28□□, 32□(-S1)は端子番号 TB36 の既設の FG 線を外してください。

外した FG 線は絶縁処理を施してください。



※トライアック出力ユニット使用の場合のみこの工程を実施

7. 外付けヒューズ取付け

①ユニットの出力コモン端子の既設ケーブルを取り外してください。

※出力コモン箇所は表1を参照ください。

②①で取り外した既設ケーブルをインタフェースユニット同梱のヒューズホルダに接続してください。

③ヒューズホルダをインタフェースユニット同梱のなべ小ネジ M3×8 を使用し、制御盤に固定してください。

④インタフェースユニットに同梱されているヒューズ接続ケーブル(150mm)をヒューズホルダに取付けてください。

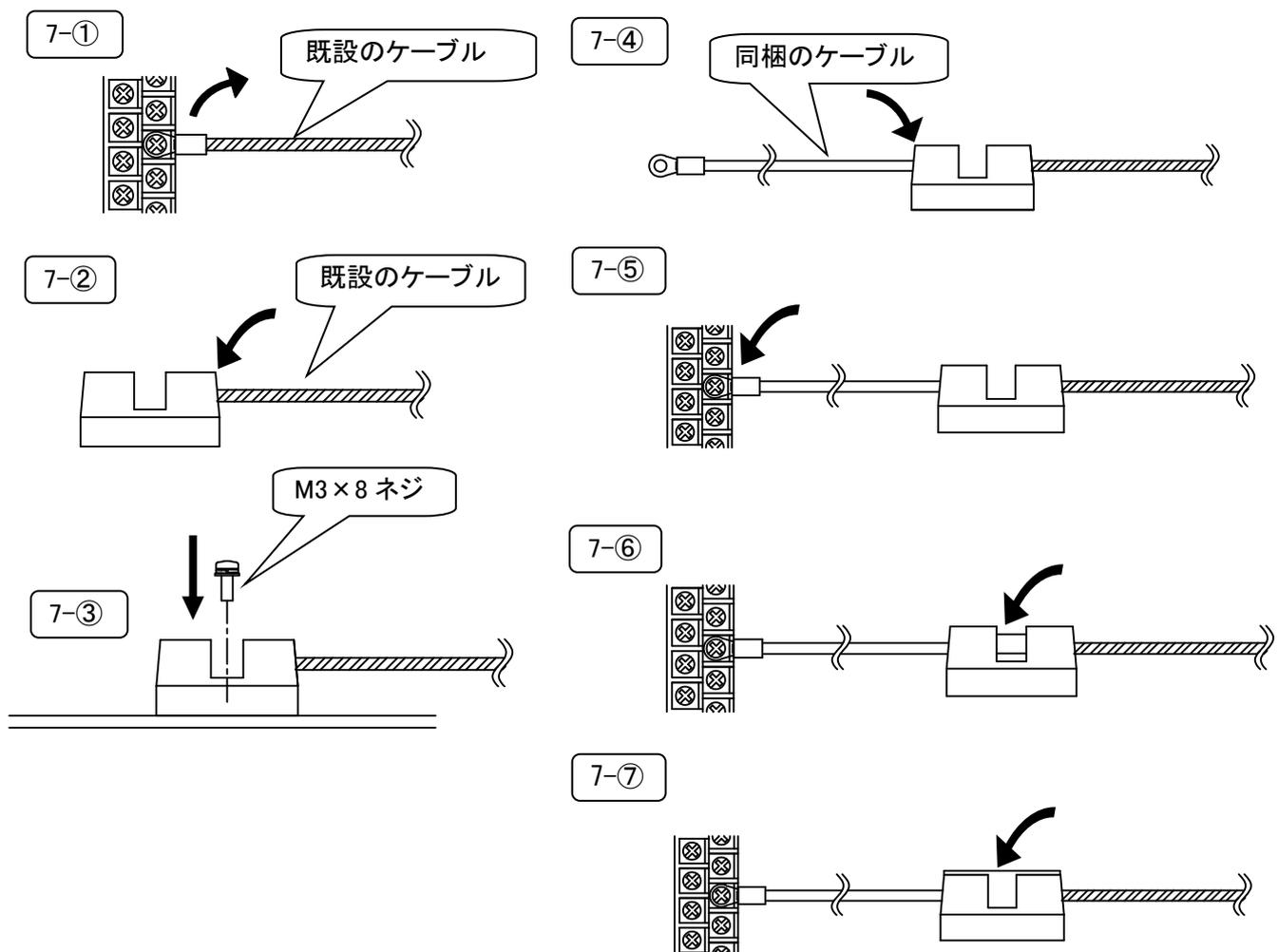
⑤既設ケーブルが元々接続されていたコモン端子に、ヒューズ接続ケーブルを接続してください。

⑥ヒューズをヒューズホルダに取付けてください。

⑦ホルダカバーをヒューズホルダに取り付けてください。

表1. 出力コモン端子

ユニット形名	端子番号		出力コモン数
	左側端子台	右側端子台	
24S	TB9 TB19 TB29	—	3箇所
28□S	TB26 TB33	—	2箇所
56□S	—	TB9 TB19 TB29	3箇所



※2段積みの場合のみ、この工程を実施

1段積みの場合は12項へ

8. インタフェースユニット(2段目) 入出力ユニット端子台 取付け

- ①なべ小ネジ M4×35(4本)を使用してインタフェースユニット(2段目)を取付けてください。
- ②入出力ユニット端子台をインタフェースユニット(2段目)に取付けてください。

9. シーケンサ接続ケーブル取付け

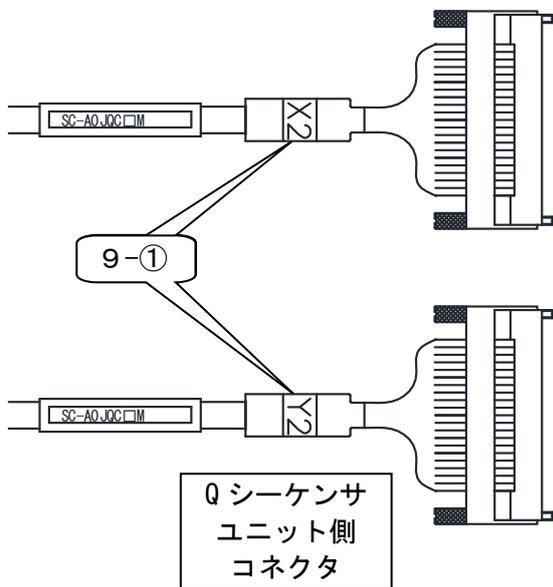
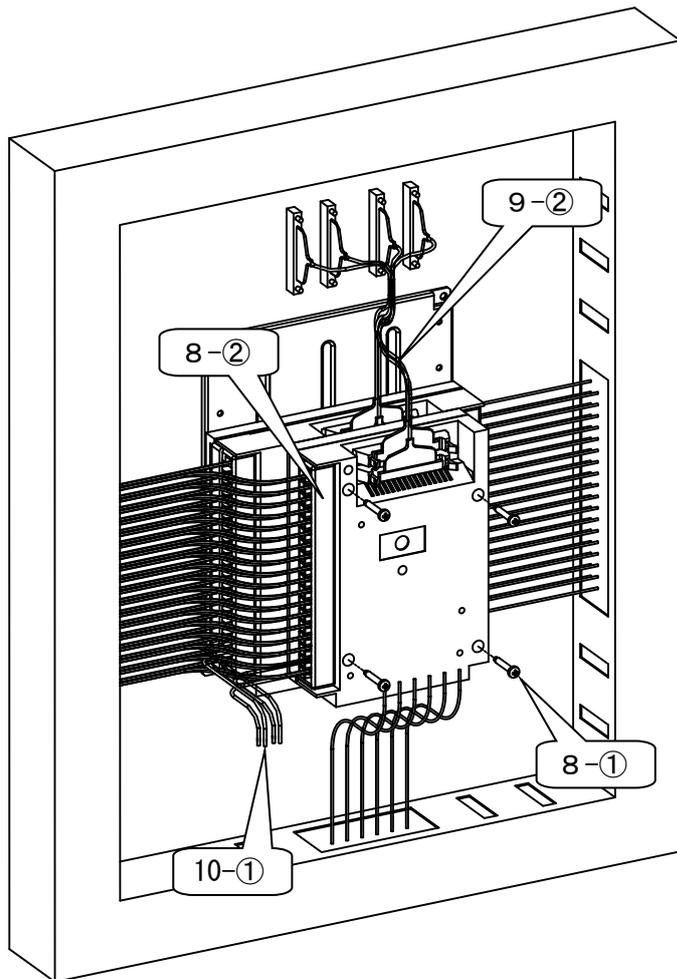
- ①ケーブル識別シール X2, Y2 をシーケンサ接続ケーブルの下図の箇所に貼り付けてください。
- ②シーケンサ接続ケーブル(X2)をインタフェースユニット(2段目)の INPUT コネクタ、シーケンサ接続ケーブル(Y2)を OUTPUT コネクタに取付けてください。

※SC-A0JQIF24□をご使用の場合はケーブル識別シール X2 及び INPUT コネクタ側のシーケンサ接続ケーブルを使用しません。

※SC-A0JQIF24□に INPUT コネクタは付いていません。

※SC-A0JQIF32□(-S1)をご使用の場合はケーブル識別シール Y2 及び OUTPUT コネクタ側のシーケンサ接続ケーブルを使用しません。

※SC-A0JQIF32□(-S1)に OUTPUT コネクタは付いていません。



10. 入出力ユニット端子台に電源ケーブル接続 ※本リニューアルツールで追加された電源ケーブルです。忘れずに接続してください。

- ①電源ケーブル(電源用端子台⇄インタフェースユニット間)(2本)を入出力ユニット端子台の **+** **-** 部分に取付けてください。接続箇所の詳細はインタフェースユニットマニュアル(X903070802)を参照ください。

※SC-A0JQIF24R は接続の必要がありません。

※SC-A0JQIF24T, SC-A0JQIF28□□, 32□(-S1)は端子番号 TB36 の既設の FG 線を外してください。外した FG 線は絶縁処理を施してください。

※トライアック出力ユニット使用の場合のみこの工程を実施

11. 外付けヒューズ取付け

7項と同様の工程で外付けヒューズの取り付けを行ってください。

12. 電源用端子台取付け、及び電線接続

①なべ小ネジ M4×18(2本)を使用し電源用端子台を取り付けてください。

②電源ケーブル(電源用端子台⇄インタフェースユニット間)を電源用端子台の(+24V, 24G)に取付けてください。

※マークチューブと端子台表記を合わせて接続してください。

③外部 AC 電源線, DC 電源線, LG・FG 線を電源用端子台に取付けてください。

※同一端子には圧着端子を3本以上接続しないでください。

※DC24V 電源の電流容量が不足する場合は、別途電源を準備ください。

(インタフェースユニットに取付可能な電源：デンセイラムダ製 HWS15A-24/A 及び HWS30A-24/A 用)

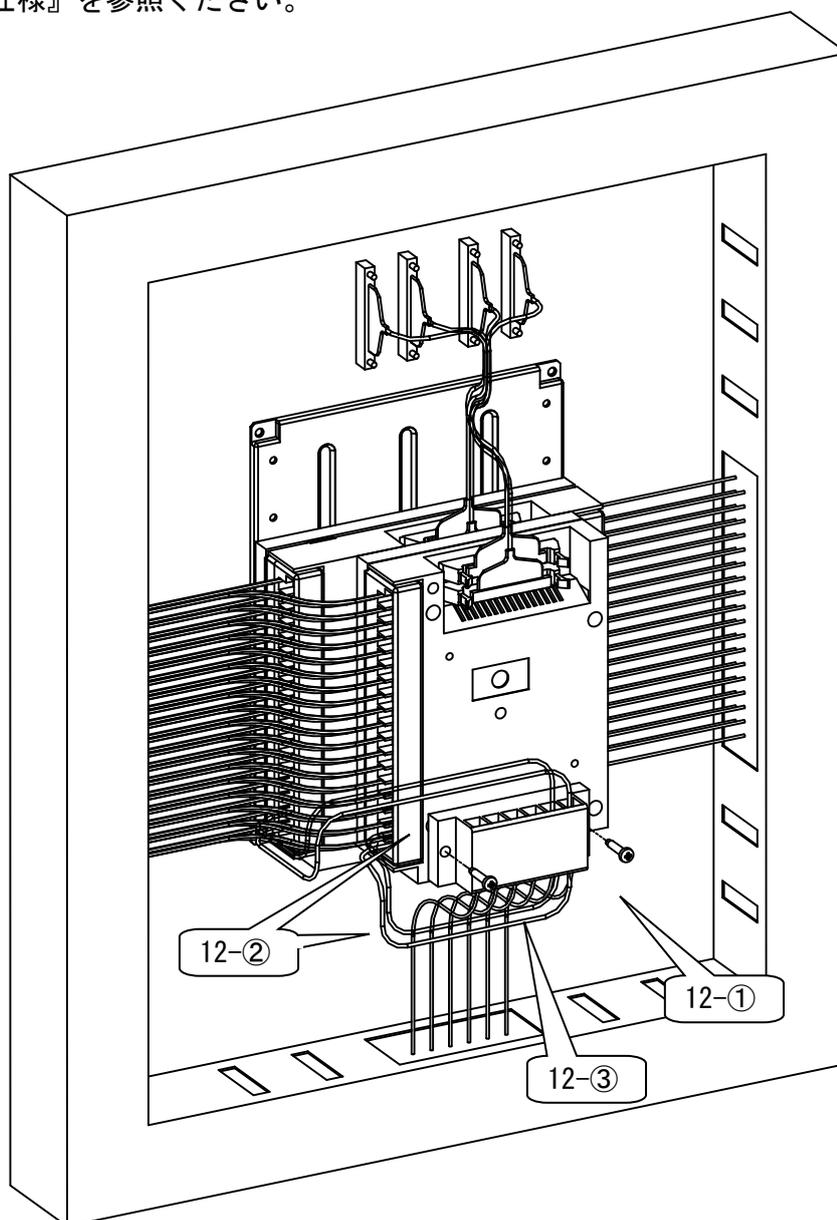
上記電源取付時には、別途電源取付板(SC-A0JQPT4)をご購入ください。

※デンセイラムダ製電源の電流容量を超える場合があります。

インタフェースユニットの消費電流をご確認の上ご使用ください。

詳細はホームページ (URL <http://www.melsec.co.jp/business/>) から

『MELSEC-A0J2(H) システムから A0J2 リニューアルツールを使用した置換えの手引き』(X903070804)の『2.7 インタフェースユニット電源仕様』を参照ください。



〔積み上げタイプ〕

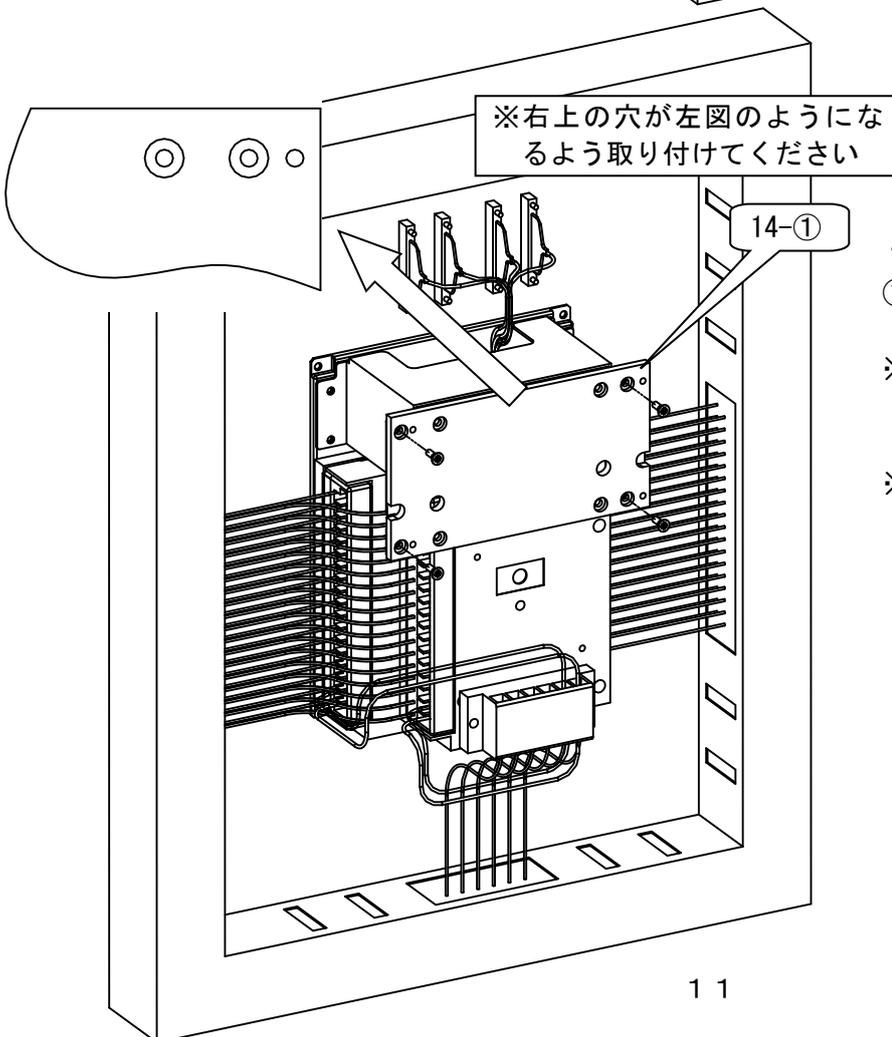
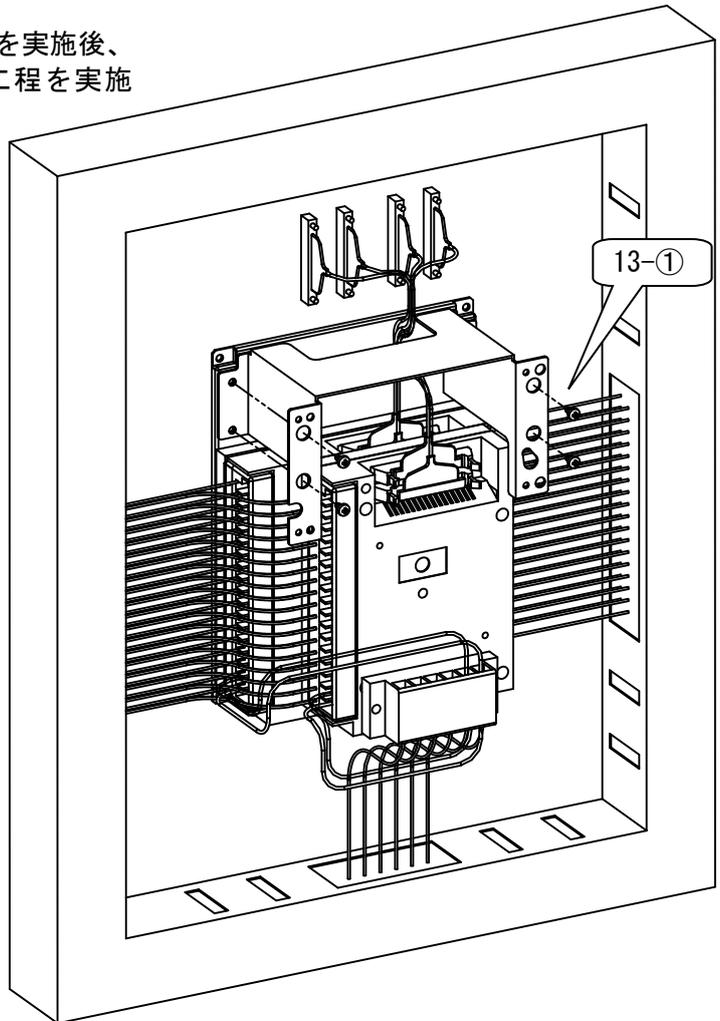
※共通工程 1～12 を実施後、
積み上げタイプ工程を実施
してください

13. 取付台取付け

①なべ小ネジ M4×8(ワッシャー, スプリングワッシャー付)(4本)を使用し、取付台を取付けてください。

※シーケンサ接続ケーブルを右図の様に取付台・ベースアダプタ間に通してください。

※「1段積み」の場合は取付台の形状が図と異なります。



14. 取付板取付け

①バインド小ネジ M4×10 (4本)を使用し、取付板を取付けてください。

※1段積み(SC-A0JQ1F24□/28□□/32□用)は内側の穴4箇所にネジを締付けてください。

※CC-Linkなどをご利用の場合は、別売りの取付板をご利用ください。

詳細はホームページ

(URL <http://www.melco.co.jp/business/>)から『MELSEC-A0J2(H)システムからA0J2リニューアルツールを使用した置換えの手引き』(X903070804)を参照ください。

15. Qシーケンサ取付け

①Qシーケンサベースユニットに同梱されているネジを使用して、Qシーケンサを取付けてください。

※左上のネジを取付け板に軽くネジ込み、ベースを引っ掛けてから、4隅を本締めしてください。

16. Qシーケンサ用電源ケーブル及びシーケンサ接続ケーブル接続

①電源ケーブル(電源用端子台⇄シーケンサ電源ユニット間)(6本)をQシーケンサ電源(Q62P)と電源用端子台に接続してください。

※マークチューブと端子台表記を合わせて接続してください。

※Q62PのDC24V電源の電流容量を超える場合があります。

インターフェースユニットの消費電流をご確認の上ご使用ください。

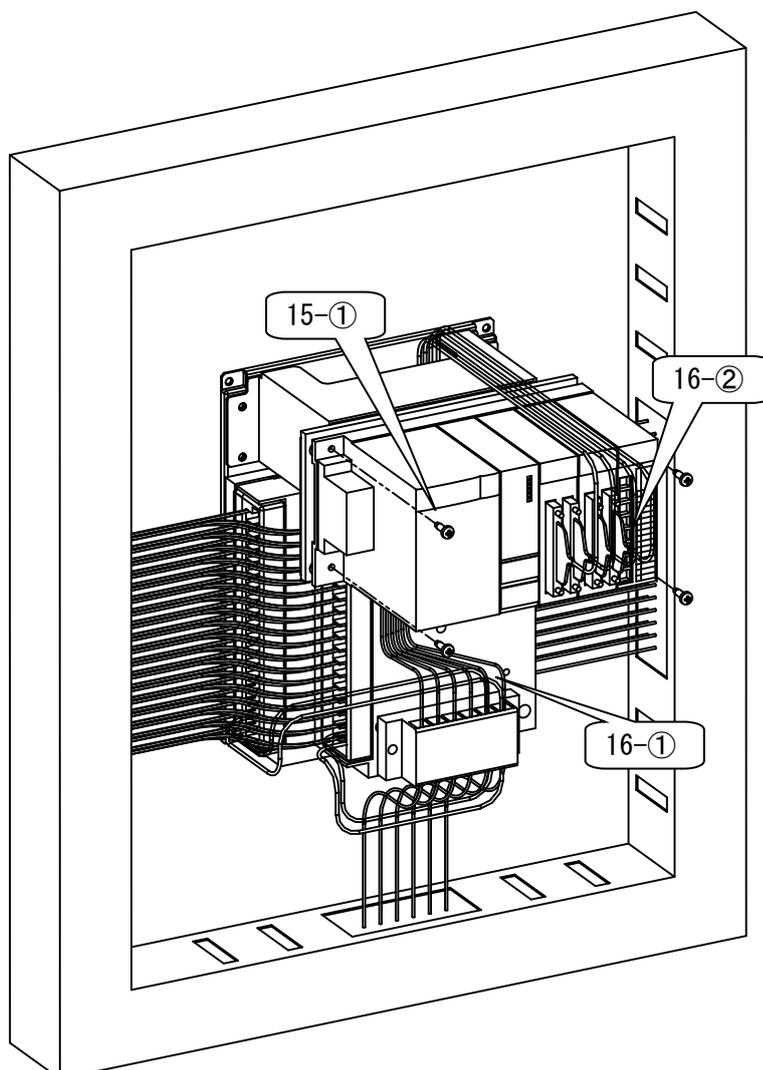
詳細はホームページ(URL <http://www.melsec.co.jp/business/>)から

『MELSEC-A0J2(H)システムからA0J2リニューアルツールを使用した置換えの手引き』(X903070804)の『2.7インターフェースユニット電源仕様』を参照ください。

②シーケンサ接続ケーブルをQシーケンサ入出力ユニットに取付けてください。

※コネクタを下記のとおり接続してください。

- ・コネクタ(ケーブル識別シールX1貼付) — Qシーケンサ1段目用入力ユニット
- ・コネクタ(ケーブル識別シールY1貼付) — Qシーケンサ1段目用出力ユニット
- ・コネクタ(ケーブル識別シールX2貼付) — Qシーケンサ2段目用入力ユニット
- ・コネクタ(ケーブル識別シールY2貼付) — Qシーケンサ2段目用出力ユニット



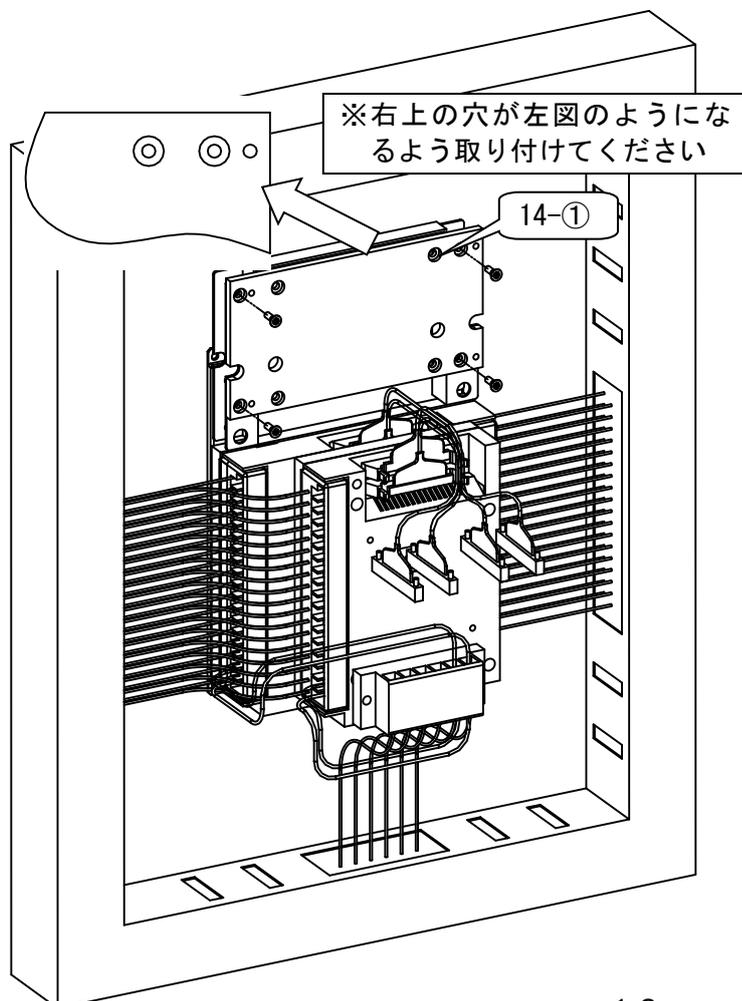
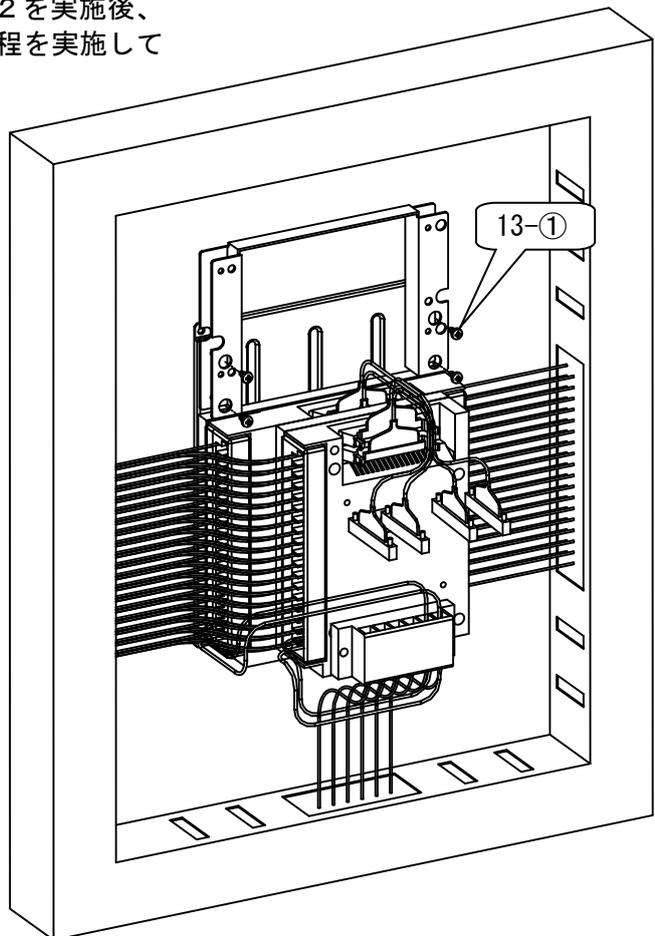
〔平置きタイプ〕

※共通工程 1～12 を実施後、
平置きタイプ工程を実施して
ください

13. 取付台取付け

①なべ小ネジ M4×8 (4本) (ワッシャー、スプリングワッシャー付) を使用し、取付台を取付けてください。

※「SC-A0JQIF 24□/28□□/32□用」
の場合は取付台の形状が図と異なります。



14. 取付板取付け

①バインド小ネジ M4×10 (4本) を使用し、取付板を取付けてください。

※1段積み (SC-A0JQIF24□/28□□/32□用) は内側の穴にネジを締付けてください。

※CC-Link などをご利用の場合は、別売りの取付板をご利用ください。詳細はホームページ

(URL <http://www.melco.co.jp/business/>) から『MELSEC-A0J2 (H) システムから A0J2 リニューアルツールを使用した置換えの手引き』(X903070804) を参照ください。

15. Qシーケンサ取付け

①Qシーケンサベースユニットに同梱されているネジを使用して、Qシーケンサを取付けてください。

※左上のネジを取付け板に軽くネジ込み、ベースを引っ掛けてから、4隅を本締めしてください。

16. Qシーケンサ用電源ケーブル及びシーケンサ接続ケーブル接続

①電源ケーブル(電源用端子台⇄シーケンサ電源ユニット間)(6本)をQシーケンサ電源(Q62P)と電源用端子台に接続してください。

※マークチューブと端子台表記を合わせて接続してください。

※Q62PのDC24V電源の電流容量を超える場合があります。

インターフェースユニットの消費電流をご確認の上ご使用ください。

詳細はホームページ(URL <http://www.melsec.co.jp/business/>)から

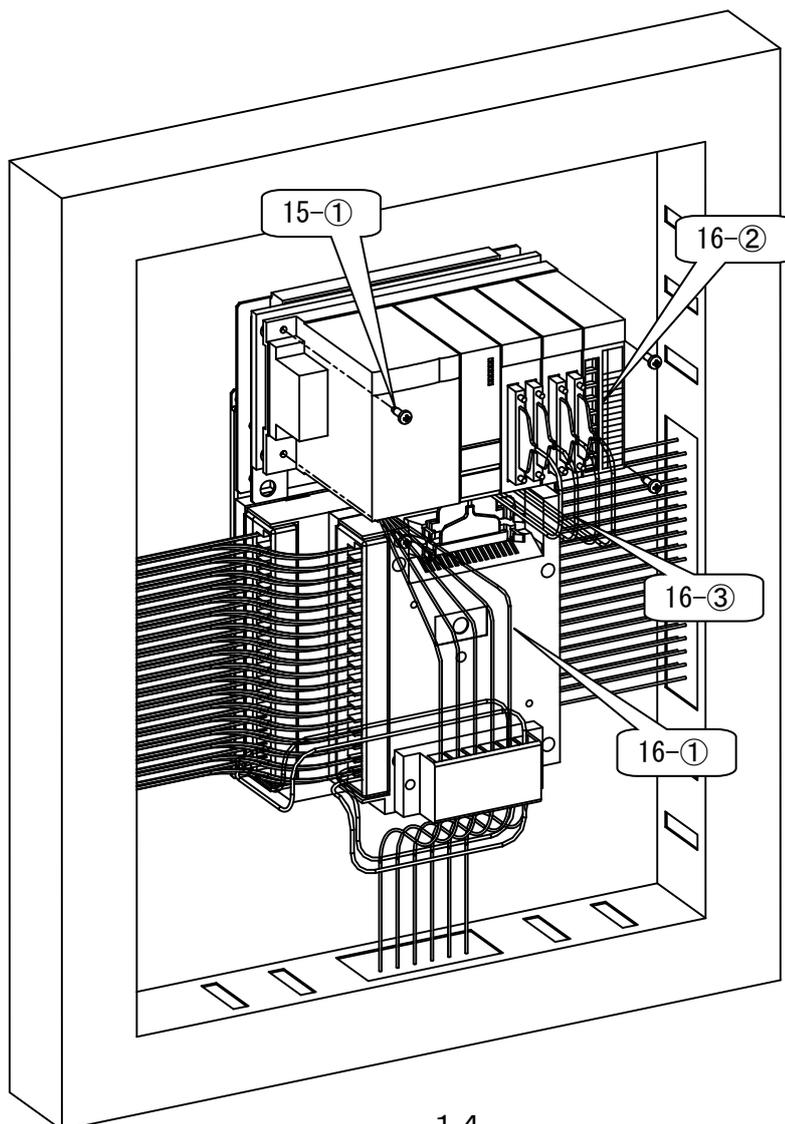
『MELSEC-A0J2(H)システムからA0J2リニューアルツールを使用した置換えの手引き』(X903070804)の『2.7インターフェースユニット電源仕様』を参照ください。

②シーケンサ接続ケーブルをQシーケンサ入出力ユニットに取付けてください。

※コネクタを下記のとおり接続してください。

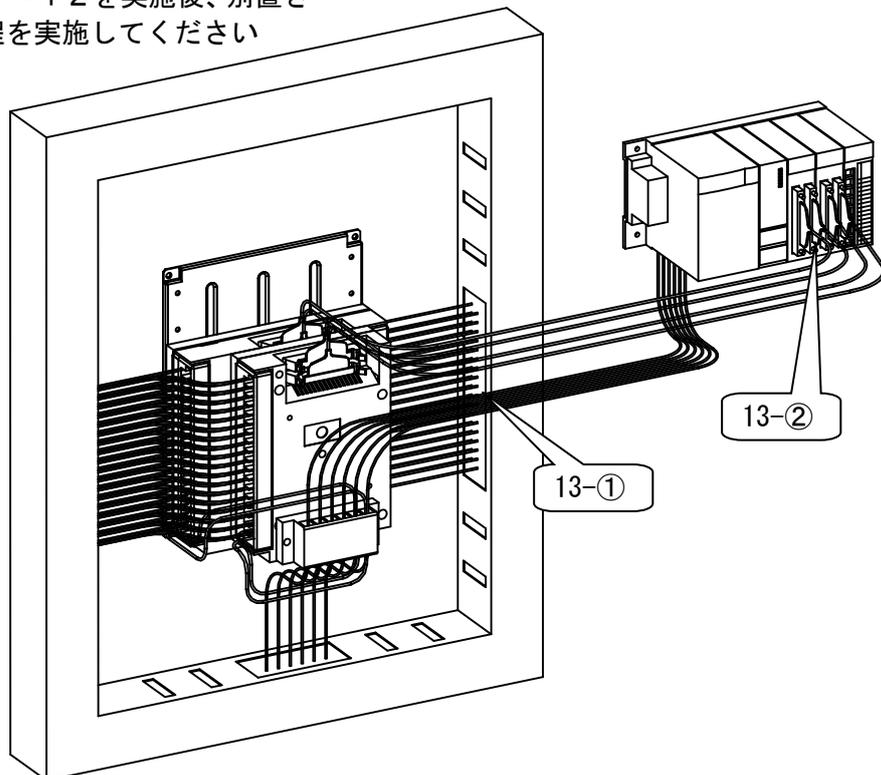
- ・コネクタ(ケーブル識別シールX1貼付) — Qシーケンサ1段目用入力ユニット
- ・コネクタ(ケーブル識別シールY1貼付) — Qシーケンサ1段目用出力ユニット
- ・コネクタ(ケーブル識別シールX2貼付) — Qシーケンサ2段目用入力ユニット
- ・コネクタ(ケーブル識別シールY2貼付) — Qシーケンサ2段目用出力ユニット

③結束バンド(同梱品)でシーケンサ接続ケーブルをまとめてください。



【別置きタイプ】

※共通工程 1～12 を実施後、別置き
タイプ工程を実施してください



13.Q シーケンサ用電源ケーブル 及びシーケンサ接続ケーブル接続

①電源ケーブル(ユーザーにて手配)を
電源用端子台とシーケンサ電源ユニット
(Q62P)間に接続してください。

※Q62P の DC24V 電源の電流容量を超える
場合があります。

インタフェースユニットの消費電流を
ご確認の上ご使用ください。

詳細はホームページ

(URL <http://www.melsec.co.jp/business/>)

から『MELSEC-A0J2(H)システムから A0J2
リニューアルツールを使用した置換えの手引き』

(X903070804)の『2.7 インタフェースユニット電源仕様』を参照ください。

②シーケンサ接続ケーブルを Q シーケンサ入出力ユニットに取付けてください。

※コネクタを下記のとおり接続してください。

- ・コネクタ(ケーブル識別シール X1 貼付) — Q シーケンサ 1 段目用 入力ユニット
- ・コネクタ(ケーブル識別シール Y1 貼付) — Q シーケンサ 1 段目用 出力ユニット
- ・コネクタ(ケーブル識別シール X2 貼付) — Q シーケンサ 2 段目用 入力ユニット
- ・コネクタ(ケーブル識別シール Y2 貼付) — Q シーケンサ 2 段目用 出力ユニット

◆ シーケンスプログラムの置換え

1) シーケンスプログラムの置換え

A0J2 リニューアルの際、シーケンスプログラムの置換え(流用)が必要です。

A0J2H CPU から QCPU へ置換えるときは、GX Developer で行います。

A0J2CPU は GX Developer で置換えできません。プログラム変換を行いたい場合は弊社の
窓口までご用命ください。

2) I/O アドレスについて

A0J2(H) CPU の入出力ユニットの I/O 割付は、インタフェースユニットの入出力点数に
かかわらず、1 ユニットの占有 I/O 点数は 64 点固定(前半入力 32 点、後半出力 32 点)
です。

よって 64 点入出力ユニット QX41Y41P、又は 32 点入力ユニット QX41×1 枚、32 点
出力ユニット QY41P×1 枚の順に並べることで、I/O 割付をそのまま置換えが可能です。

ただし入出力混合ユニット QH42P を使用する際は出力 32 点の I/O アドレスを入力の
I/O アドレスと同一となるよう、シーケンスプログラムを変更する必要があります。

シーケンスプログラムの置換えについての詳細は、三菱電機株式会社発行の
『MELSEC-A0J2H シリーズから Q シリーズへの置換えの手引き』L(名)08056 を
参照してください。

◆ 立上げ(動作確認)手順

置換え後、インタフェースユニットの入出力回路が正しく動作するか確認してください。

1) 出力回路の確認手順

- ①シーケンスプログラムにより、出力ユニットを ON する。
- ②インタフェースユニットの出力端子に接続されている負荷に電圧が出力されるか、テストで確認する。

2) 入力回路の確認手順

- ①インタフェースユニットの入力端子-COM 端子間に電圧を供給する。
- ②シーケンサの入力ユニット(入出力ユニットは入力側)の LED 表示を確認する。

正しく動作しない場合は、ホームページ (URL <http://www.melsc.co.jp/business/>) から『MELSEC-A0J2 (H) システムから A0J2 リニューアルツールを使用した置換えの手引き』(X903070804) の『第 4 章 トラブルシューティング』を参照ください。

◆ 外形仕様

ホームページ (URL <http://www.melsc.co.jp/business/>) から『MELSEC-A0J2 (H) システムから A0J2 リニューアルツールを使用した置換えの手引き』(X903070804) の『5.4 外形仕様』を参照ください。

◆ 質量

シーケンサ固定台セット/ベースアダプタ	質量 [kg]
SC-A0JQSES-U1	1.06
SC-A0JQSEL-U1	1.27
SC-A0JQSEL-U2	1.40
SC-A0JQSES-F	1.05
SC-A0JQSEL-F	1.27
SC-A0JQBSS	0.55
SC-A0JQBSL	0.76

◆ 製品のお問い合わせ

各製品に関するお問い合わせ先は、当社ホームページにてご確認ください。

www.melsc.co.jp/business/introduction/inquiry.html



三菱電機システムサービス株式会社

- ・お断りなしに内容を変更することがありますのでご了承ください。
- ・許可なく、本ユーザーズマニュアルの無断転載をしないでください。